

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

大阪府

学校名

泉南市 鳴滝小学校

人権課題

子ども（子どもの権利）

対象学年・  
取り扱った教科等

小学5年生・特別活動

目標・人権教  
育のねらい

- 自分たちに保障されている子どもの権利について知る～特に「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの柱を中心に～
- 子どもの権利条約の中に、なぜこの権利が入っているのかを知る
- 自分たちの生活の中で、子どもの権利が守られているかを考え、守るためにどう行動すればよいかを考える

実施した内容

- 「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」について知る
- 子どもの権利条約がなぜできたのかを考える
- 子どもの権利が守られていない現状について、世界の情勢や自分たちの身のまわりの実態から気づく
- 地域の子ども会議の存在を知るとともに、自分たちの学校の児童会活動や学級会活動などのあり方考える

工夫した点

- 特に「参加する権利」に焦点をあて、自分たちのことを決める際に意見が反映される機会があるか検証することで、身近な課題としてとらえる
- 子どもだけで決めるのではなく、子どもとおとなが共に考えることの必要性をおさえる
- 他者にも自分と同じ権利があり、互いに尊重することの必要性をおさえる
- 参加することで、決めたことへの責任も同時に発生することをおさえる
- 児童会活動や学級活動の意義を再確認し参加参画することで実現する実感を得る

他教科との  
関連

特別活動 ～学級活動・児童会活動～ 6年生の憲法学習へ

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

大阪府

学校名

泉南市 鳴滝小学校

人権課題

女性

対象学年・  
取り扱った教科等

小学1年生・生活科

目標・人権教育のねらい

- 家族にはいろいろな形があることを知る
- 家庭生活を支える役割について知るとともに、そこにある性別役割分担意識に気づく
- 性別の関係なく、家族のために自分ができることについて考え、自分の役割を積極的に果たそうとする

実施した内容

- 家での様子を絵日記にし、自分の家族と同じところや似ているところや違うところ等を見つけ、いろいろな家族の形があることをわかりあった
- 家族一人一人について、好きなものや嫌いなもの、家での役割などを絵カードを作成した
- 家族の願いをききとり、そこから自分にできることを考え行動した
- 絵カードと自分の行動、家族からのメッセージをまとめて「かぞく絵本」を作成した

工夫した点

- さまざまな生活背景の子どもたちがいる中で、必要な場合は個別に保護者と学習のねらいを確認し、事前に協力をお願いした
- 子どもたちにメッセージを書いてもらう際には、保護者に「モデル」を示した
- 学習の様子は常に「通信」で保護者に発信した
- 家族の役割や子どもたちが考えた行動など、わかりやすいように絵、図、表などに示した

他教科との  
関連

図画工作の時間に「私の家族の顔」を絵画で表現した

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

大阪府

学校名

泉南市 鳴滝小学校

人権課題

高齢者

対象学年・  
取り扱った教科等

小学4年生・総合的な学習

目標・人権教育のねらい

- 防災のまちづくりをテーマに高齢者の現状や課題、高齢者を支援している機関の取組みについて知る
- 高齢者に対して自分たちができることを考え、行動する
- 日常からの人と人とのつながりが大事であることを実感する

実施した内容

- 防災をテーマに市の危機管理課の職員から取組みとともに現状や課題をきく
- 高齢者介護施設の方から取組みとともに高齢者に関わる現状や課題をきく
- 社会福祉協議会の協力のもと、高齢者の疑似体験を行い、高齢者に対する理解を深める
- 地域に出て防災訓練をする中で、高齢者が避難するときの課題に気づく
- 高齢者の現状や課題をふまえて防災マップを作成する

工夫した点

- これまでの学習で高齢者と交流したことを思い出しながら、人生の先輩としての高齢者から学んだことをおさえる
- 疑似体験など、自分たちが経験したことをもとに自分なりの考えをもってから、高齢者やそこに携わる人と出会うようにする
- 防災マップを作る際は、日常から見たくなるような、高齢者を含めて地域の人々がいきいきとくらす「まち」のよさも含めたマップにするようにする

他教科との  
関連

社会科の時間に「自然災害から人々を守る活動」「地域の発展につくした人々」を学習

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

大阪府

学校名

泉南市 鳴滝小学校

人権課題

障害者

対象学年・  
取り扱った教科等

小学6年生・総合的な学習

目標・人権教育のねらい

- よりよい社会をつくるため、日常生活の中にある人権課題に気づき、その解決も含めた社会づくりに貢献する
- ・障害の有無などに関わらず、誰もがくらしやすいまちづくりについて考える（その一つとして今回、インクルーシブ公園について考える）
  - ・そのようなまちづくりにむけて、自分たちができることを考え、行動する
  - ・自分たちが動けば、社会が変わる可能性があることを実感する

実施した内容

- 自分たちのまちの公園について調べる（インクルーシブになっているか）
- 市の住宅公園課の職員から公園、インクルーシブ公園についての考え方をきく
- 地域の方にインタビューする（支援を要する乳幼児が通う保育施設など）
- これまで公園利用が難しかった人たちと出会う（障害のある方との出会い）
- 自分たちが考えるインクルーシブな公園・遊び場について市に提言する

工夫した点

- 幼いころに公園を利用することが少なかった背景として語られた「遊具の使いにくさだけでなく、友だちがいなかったから」という事実から、出会った人の思いや願いをおさえる
- その中であっても、自分の障害とむきあい、乗り越えていく生き方に学ぶ
- 家族の中に障害のある方がいる子どもや保護者の思いや願いをふまえる
- これまでインクルーシブな遊び場や公園をつくってきた人の生き方に学ぶ
- 以上の人々との出会いの中で学んだことを、提言の根拠にする

他教科との  
関連

社会科・憲法学習～基本的人権の尊重～

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

大阪府

学校名

泉南市 鳴滝小学校

人権課題

外国人

対象学年・  
取り扱った教科等

小学4年生・総合的な学習

目標・人権教育のねらい

- 防災のまちづくりをテーマに外国人の現状や課題について知る
- 外国人に対して自分たちができることを考え、行動する
- 日常からの人と人とのつながりが大事であることを実感する

実施した内容

- 防災をテーマに市の危機管理課の職員から取り組みとともに現状や課題をきく
- 外国人の方から、防災についての現状や課題をきく
- 地域に出て防災訓練をする中で、外国人が避難するときの課題に気づく
- 外国人の現状や課題をふまえて防災マップを作成する

工夫した点

- 市教委の施策として導入したJETプログラムで来日した人材を活用し、取り組んだ。その中には地震などの災害そのものを日本に来て初めて経験した方もいた
- 本校に在籍する外国にルーツのある保護者の思いや願いをきいて取り組んだ。災害に関する情報などが届かないなどの課題があった
- 「〇〇語版」等の文書はもちろん必要だが、外国にルーツのある人どうしのコミュニティだけでなく、日常から多様な人との直接のつながりが大事なことを確認した

他教科との  
関連

社会科の時間に「自然災害から人々を守る活動」「地域の発展につくした人々」を学習

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

大阪府

学校名

泉南市 鳴滝小学校

人権課題

同和問題

対象学年・  
取り扱った教科等

小学3年生・総合的な学習

目標・人権教育のねらい

- これまで「誰もが安心して住めるまちづくり」の活動を担ってきた人はもちろん、現在、そしてこれから、自分たちのすむ「まち」をよりよくしようと考える人たちと出会い、その思いや願いを知る
- 自分たちも「まちづくり」に参加・参画することで、このまちの「よさ」を実感する

実施した内容

- 家族や地域の人と出会いながら、この「まち」の名物を探す
- その名物がどのような願いの中で、どのようにして生まれてきたのか、インタビューする
- 地域の人たちが新たに始めた取組みを新しい「名物」にするために、課題を明らかにしながら、その解決にむけて自分たちにできることを考える
- 自分たちの考えを実行するために地域の人と出会い、アドバイスをもらう

工夫した点

- 常に変化する「まちづくり」の取組みを把握し、世代を越えて、多様な人との出会いを設定するようにした
- 「コロナ」禍の中での課題を地域と共有し、その解決にむけて、子どもたちができることを探すようにした
- 対面で出会えない施設もあったが、文書交換や職員の方に来ていただくなどの工夫をした
- 学習タブレット等のICT機器を積極的に活用するようにした

他教科との  
関連

社会科「わたしたちのまちのようす」の学習

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

大阪府

学校名

泉南市 鳴滝小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・  
取り扱った教科等

小学6年生・総合的な学習

目標・人権教育のねらい

- ネットによるさまざまな情報には事実でないものがあることを知る
- その中には意図してつくられたもの、情報操作されたものがあることを知る
- その結果、被害を受ける人が出て、人権侵害につながっていることを知る
- ネットで得た不確かな情報を拡散するなどの行為は無自覚なうちに人権侵害に参加することにつながることを知り、自分はどのように行動すればいいかを考える

実施した内容

- 「コロナ」禍の中での人権侵害として、自分自身が今心配に思っていることを出し合い、ネット・SNS等の影響について考える
- 噂とデマの違いについて考え、動画等の教材をみながら演出の「意図」を発見する
- 市の中にはネットによる人権侵害をはじめ人権問題の解決にむけて取り組む部署があることを知り、出会って話を聞く中で、自分の行動について考える

工夫した点

- 動画やネットによる人権侵害の例などは子どもの発達段階に応じたものを教材にする
- 「コロナ」禍の中で、自分はどう思われているか、不安に思う気持ちをもっている子どもたちに寄り添いながら、授業をすすめていく
- 人権問題解決にむけて考えている公の機関があることを知り、困ったときには相談できるところがあることを知らせていく

他教科との  
関連

社会科・憲法学習～基本的人権の尊重・広がる基本的人権～

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

大阪府

学校名

泉南市 鳴滝小学校

人権課題

新型コロナウイルス感染症

対象学年・  
取り扱った教科等

小学6年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- 感染者や医療従事者に対する差別や偏見、誹謗中傷について知り、それらを許さない態度を育成するとともに、現実に飛び交う様々な噂に対して、どう行動するか考える
- 憲法に保障されている基本的人権の尊重と、ワクチン接種等の感染症対策との両立をどのように図っていけばよいか、自分たちの考えをもつ

実施した内容

- 家庭、地域に出かけ感染症の影響やその対策、課題について聞きとる
- 国、府、市の感染症対策について調べ、その課題について考える
- 感染者や医療従事者に対する差別や偏見、誹謗中傷について知り、自分たちがどう行動できるか考える
- ワクチン接種等の感染症対策と基本的人権の尊重の両立について考える

工夫した点

- 感染を経験した児童、隔離生活を経験した児童、家族の中に医療従事者がいる児童、感染症で身内を亡くした児童などに寄り添い、その気持ちを受けとめ、配慮しながらていねいに進めていく
- 感染症について、その対策と人権の保障との両立について考えるなかで、憲法学習で学んだ「基本的人権の尊重」の意味をみつめなおし、認識を深める

他教科との  
関連

社会科・憲法学習～基本的人権の尊重・広がる基本的人権～